

# カードケースを使った大きな数の電車

算数工房

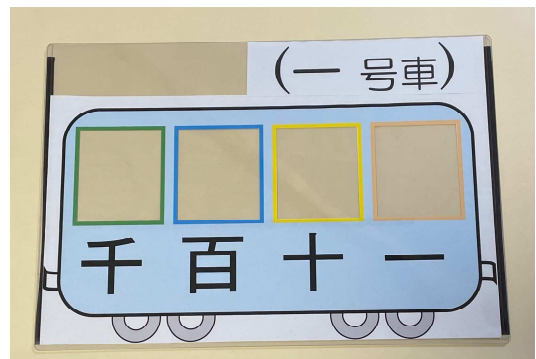
「大きな数の電車」をカードケース(B4)を使って簡単に作る方法を紹介します。この作り方は、算数工房のブログやオンライン研究会などでは発表していましたが、ホームページに詳しく作り方を書いていませんでした。

電車は、他校での公開授業をするために初めて作ったもので、かなり凝った構造になっていました。はじめは、板目紙に電車を印刷したものを貼りました。次は、板目紙の代わりに電車をラミネートすることにしました。ところが、ラミネートすると光の具合で子どもたちから見えにくいという声がありました。そこで、片面マット（反射を抑える）のラミネートを使いました。しかし、薄い箱に数字を入れるという構造には変わりはありませんでした。

電車にカードケースを使えると思ったきっかけは何だったのか？記憶ははっきりしません。そこで、このことをブログに書いた日付を見てみると2019年7月21日でした。このころは、高さ定規を作っていたころで、A3カードケースを透明板として利用して提示用の高さ定規を作ったころです。そのことから考えると、このときにカードケースに印刷した電車を入れたら簡単に電車ができるなと思いついたのではないだろうかと思像します。（思いついたときに記録しておかなければダメですね）



印刷した電車をカードケースに挟むだけで完成です。  
(電車の型紙は、算数工房→教具作り①に)

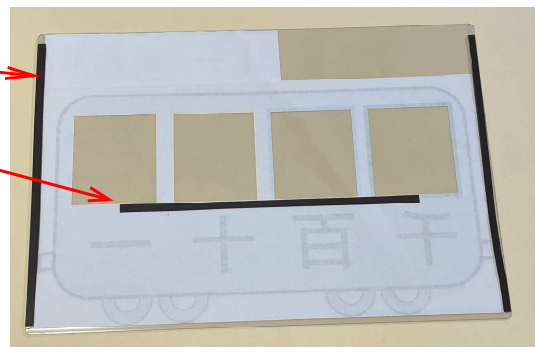


後は、

裏に黒板に貼るためのゴム磁石

数字の紙を途中で止めるためのゴム磁石

これらのゴム磁石を貼ります。



今までは電車が薄い箱になっていてそこに数字の紙を入れましたが、これは黒板と電車の中に数字の紙を入れることになります。箱型の電車に比べてグ〜ンと簡単になりました。

※この実物を見て原啓司氏（和歌山）は、「150  $\mu$ mのフィルムでラミネートするとかなりしっかりしているから、カードケースの代わりになるかもね。」というアイデアを出してくれました。150  $\mu$ mの片面マットのフィルムが最適かもしれません。